

議 事 録

会議名	平成22年度第1回 寒川町生涯学習推進会議		
日 時	平成23年 3月23日(水)午後13時30分より	開催形態	公 開
場 所	役場東分庁舎2階 第2会議室		
出席者	<p>委員：菊地原則子委員、織田紀子委員、渡邊義昭委員、近藤幹雄委員、磯川健委員、小畠栄子委員、三澤米子委員、関口静江委員（欠席） 恵羅博委員、篠塚岩夫委員、押味忠雄委員</p> <p>事務局：三澤教育長、和田次長、古谷生涯学習課長、花山指導主事 中野生涯学習課主査、高木主任主事</p>		
議 題	下記議事欄のとおり		
決定事項	議事欄のとおり		
議 事	<p>1. 開会 生涯学習課長</p> <p>2. あいさつ 教育長（挨拶後、退席） 各委員自己紹介</p> <p>3. 会長・副会長の選出 委員の互選により三澤会長、関口副会長が選出</p> <p>4. 報告事項 （1）（仮称）寒川町教育振興基本計画の骨子（第1～3章）について （事務局）資料2より説明</p> <p>（2）寒川学びプラン第1期実施計画に基づく事業実施状況について （事務局）資料3より説明 事業実施状況の一部未実施、未実施について説明。</p> <p>（会 長）今の説明で何か質問はあるか。</p>		

(事務局) 22年度については、緊急財政の中やむを得ず休止し、一部未実施などが出てきたのをご理解頂きたい。

(会長) 連番63番のパソコン講座について、就労を目的とした講座なようだが、参加者で何人ぐらいが就労できたのか。

(事務局) 開催回数の報告は受けているが、就労できた人数等、詳細は把握しておりません。

(会長) 結果を踏まえることにより、次に繋げていけるのでは。

(事務局) おっしゃるとおりです。ご意見を踏まえて進めてまいります。

(会長) 他に無ければ、次ぎへ移ります。

## 5. 議事

### (1) 寒川学びプラン第2期実施計画について

(事務局) 資料4より説明

(事務局) 資料4の1ページにある取り組み方針について補足説明をしたい。(1) 情報提供体制の充実ですが、具体的には、町民大学メニュー、出前講座、ステップアップ人材登録制度がありますが、平成23年度につきましては、ダイジェスト版を作成し全戸配布し、まずどのような事業があるのかを知っていただく。それで、興味のある人に詳細版を差し上げる。そうすることにより、公民館に足を運んでもらう機会を作る。こういった面から情報体制の強化を考えている。(3) 成人期・高齢期の学びや活動を支援する事業展開ですが、2007年度問題で団塊の世代が地域に戻ってくると話題になりましたが、実際のところ会社を退職したあと、なかなか地域に出ていけない。寒川町の現状でいうと、そういう人達をいかに生涯学習の現場に取り込むかとなると、不惑式として、40代頃から生涯学習はこんな事業をしてるとまず知ってもらう。そこを入り口として入ってもらえる事業展開を考えている。(4) 教育振興基本計画を見据えた事業展開ですが、平成27年度には学びプランと教育振興基本計画が統合する予定から、それを見据えた事業展開を平成24年度から考えている。3ページ以降にある各事業については、すでに予算が固まっているところであり、決まっている部分についてはどうしていくとはできないが、第2期実施計画の各々の年度で詳細については時点修正を行いながら実施したい。ここでは実施計画の位置づけと取り組み方針を協議していただきたい。

(委員) 情報提供体制として、町民大学、出前講座があることを知らない方が多い。ダイジェスト版を全戸配布すると聞いたが、配布はいつになるのか。

(事務局)各課に事業予定を照会して、それから取りまとめるので、6月頃の発行予定でいる。あまり急いで発行して、事業実施内容が不明確では意味がないので、ご理解をいただきたい。

(会 長)取り組み方針の中で、「自治基本条例を踏まえ、住民協働など地域の活性化につながる事業を展開します。」とあるが、協働の部分をどう考えているか。どのように理解しているのか。

(事務局)行政と町民が、対等な立場で物事を進めていくのが協働だと理解している。こういった計画作りを一緒に進めていくのもそうでしょう。また、生涯学習課の事業で例えると、文化祭は、文化連盟を中心として実行委員会を立ち上げ委託する形で一緒に進めています。また、成人式についても、各学校から企画委員を推薦してもらい、企画運営を一緒に行っている。こういうことも協働だと思います。町と住民の人が、一緒に取り組んでいく、こういったものが協働だと考えている。

(会 長)メニューを考える時から、町民との協働ができないか。職員の中だけで考えるより、もっとニーズに沿ったものになるのでは。そういう取り組みをしてみてもどうか。

(事務局)講師登録制度ステップアップで、22年度から登録講師による自主企画講座を実施している。この企画も町民の人がメインで行っていて、23年度も引き続き実施予定でいる。何かを始める切っ掛け作りを生涯学習課がしていく。

(委 員)高校との連携が未実施となっているのが気になる。町のほうからも、是非、お声掛けをしていただければ協力をしていきたい。地元の皆さんとの交流があり、色々な人達にご協力をいただいている。町とも密にやり取りをさせていただきたいので、よろしく願います。

(事務局)どんな講座が開けるのかなど相談させてもらえます。ぜひ、よろしく願います。

(委 員)ライフステージでいう青少年期は、重要な時期にあたりと認識しているが、地域との繋がりが疎遠な時期だと感じている。教員についても、町の学校でありながら、町の事業にはあまり認識がなく、踏み込んでいけない。小学校・中学校は、外部とは閉鎖的になってしまっている。本来ですと、もっと地域との交流を持たなければならない。色々な人達と交流することによって、生涯学習に大きく繋がるのだと、改めて認識することができた。

(事務局)中学生・高校生になると部活動などがあり、どうしても地域に目を向ける時間が少なくなる時期でもある。少しでも地域との交流ができるような、例えば清掃ボランティアなど事業を展開し、今

後も皆さんとの連携を深め進めていきたい。

(会 長)以前に、北部公民館の生涯学習推進員を務めたことがある。その時企画したのが、「子どもフェスティバル」。その企画委員を小学生にしてもらった。翌年も開催予定で、企画委員として大人のスタッフの人数が集まらなかった。そこで中学生に参加してもらおうと、近所の中学校に頼みに行ったが断られた。学校では無理で、個人的にお願いしてくれと言われた。今は当時と状況が変わっているかもしれないが、お願いをしたら学校は協力をしてくれるものか伺ってみたい。

(委 員)子ども達と教員もだが、なかなか時間がとれない、忙しい状況にある。もし学校で協力をとると、その前にその活動内容を把握しなければならないし、そういった意味でもハードルが高いように思う。

(事務局)8年くらい前になるか、自分が環境課長をしていたことがあった。その当時、今の教育長が寒川中学校に赴任された。その翌年に河川美化を神川橋下。流でやったときに、生徒を連れてきてくれた。最初は10人ぐらいだったが、年々参加人数が増えていった。また、寒川中学校近くの地下道に落書きがされたときも、生徒と清掃活動をしてくれた。そのときぐらいから、だんだんと生徒によるボランティア活動が進んだように思う。そんなことから、まずは理解のある先生やこの会議にご参加の先生から和を広げていっていただければと思います。

(委 員)参考資料の15ページの連番85が22年度休止となっているのが気になった。また、4年間計画を実施するなかで、各事業について精査していくのか。

(事務局)まず、施策名については継続していくようになるが、事業内容については、目的が達成していれば終了させてもらうこともある。また、目的を達成する為にいくつかの事業を統合することも必要になるかもしれない。その時点時点で、状況に応じて修正をしていく。

(事務局)22年度に事業が休止となっているが、緊急財政の中やむを得ず休止をしているものもある。各担当に23年度以降の事業予定を確認したところ、その年に休止でも翌年には再開する予定があるところもある。完全に目的を達成しているものについては、削除してある。

(委 員)子育て支援センターに15年居た経験から、子育て支援の推進の項目の対象者が気になった。乳幼児と保護者と書かれてある。だが、子育て支援とはその対象者だけに限らず、既婚者でもまだ子

どものいない人、これから結婚して子どもを持ちたいと思っているなど含まれると思うし、育児相談だけが子育て支援ではないと思う。実際現場にいて相談を受けていると、やはり一貫して変わらないのは、話しの最初は子どもの事から始まり、それぞれの家庭環境の話しや、その時の夫婦の関係の話しになっていく。その状況が大きく子育てに影響を与えているのだなと相談を聞く中で感じた。子育て支援の対象を乳幼児やその保護者に対して捉えているならば、そうではなくて、もっと大きいスタンスで捉えて展開してみてもどうか。やはり、小さい頃から家庭という中で、社会性が育って行く。その中で、親となる人が、良い育ち方をしないと、虐待などの連鎖もそういうところにあると思う。今の親は、自分のことを語れない人が増えてきている。私達がみても、その状況は困っているだろうなと感じているのに、本人がそれを感じていない重傷な人もいる。子育て支援とは、結婚したところからではなく、男女共同という部分は踏まえながら、母であり、父であり、一個人でもあり、もっと大きい視野でとらえていただきたい。

(委員)今の菊地原委員の話で、家庭とは何か、親とは何か、突き詰めると一人の歩み、どう生きていったら良いかまでなる。私が今よく話しを聞く先生で、そういうお話しをされる良い講師がいるので、是非、話しを聞ける機会を企画して欲しい。

(会長)そういったリクエストはしても良いのか。

(事務局)リクエストは、してもらいたい。ただ、予算の関係もあり、実現するかはケースバイケースになると思う。

(委員)先程からの皆さんの話を聞いていて思ったのが、青年期というと中学生などは、部活や受験などがあり忙しいだろうし、成人になったら会社など仕事で忙しくなるし、団塊の世代になってから地域へというのは、とても良いことだと思う。また、還暦式や不惑式なども良いと思った。参加するだけでなく、実行委員として企画の段階から携わるのもありだと思う。地元根付いた人ならば、同級生などを巻き込んでいけば、地域に目を向けていく良い機会になるのではと感じた。

(事務局)不惑式などで青年会議所との連携や、地域の他の団体とも連携をしていければと考えています。

(会長)では、皆さんから様々な意見がでましたが、第2期実施計画の位置づけや取り組み方針の内容については、お示しした内容でご承認をいただけますか。

(各委員)異議無く、了承。

	<p>6. その他 特になし</p> <p>7. 閉会 (副会長)皆さんから様々な生涯学習に対する意見がでました。今後も日々の生涯学習活動に活かしていただきたいと思います。お疲れ様でした。</p>
<p>資 料</p>	<p>① 平成21・22年度寒川町生涯学習推進会議委員名簿 ② (仮称)寒川町教育振興基本計画 (案) ③ 寒川 学びプラン 第1期実施計画に基づく事業実施状況 ④ 寒川 学びプラン 第2期実施計画(案)</p> <p>参考資料：寒川学びプラン 平成21年度事業報告及び 平成22年度事業計画 平成21年度 さむかわの生涯学習 平成21年度さむかわ町民大学事業報告</p>
<p>議事録承認委員及び 議事録確定年月日</p>	<p>・三澤 米子      ・関口 静江 (平成23年 4月21日確定)</p>